

## 正副議長定例記者会見（令和5年12月定例会）

日時：令和5年12月15日（金）13：30～13：47

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

高山議長



福羅副議長



（南海放送：幹事社）

それでは、時間になりましたので、始めさせていただきます。議長は、次の公務がございますので、会見は13時50分までとさせていただきます。

まずはじめに、議長から御挨拶をお願いいたします。

（議長）

今年最後の定例会、12月議会を閉じまして、定例の記者会見をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、喫緊の課題である物価高騰を乗り越えるため、国の総合経済対策に関わる補正予算に即応し、地域の実情を踏まえた本県独自の対策等を実施すべく、まず、エネルギー価格・物価高騰の影響を受けている生活者や中小企業等への支援の強化、防災・減災対策等の更なる推進、物流の2024年問題等の重要課題への対応などについて、必要な予算を措置するとともに、当面措置が必要な対策として、文化観光の振興や、県試験研究機関等への機能強化などの予算も議決し、スピード感を持った対策が取れたのではないかと考えています。予算以外では、県民文化会館南側県有地活用に係る今後の取り組みや、防災・減災対策、教員確保に向けた対策等に関して、活発な質疑を通じて、意義ある議論が展開されたのではないかと評価しております。

(南海放送：幹事社)

続いて、副議長から御挨拶をお願いいたします。

(副議長)

私としても、議長と同様であります。県民生活や地域経済への影響を踏まえ、当面抱える県政の諸課題への対策について十分議論を交わすことができ、一定の成果を上げることができたのではないかと考えております。

(南海放送：幹事社)

ありがとうございます。では、代表質問に参ります。

今年は改選期でありまして、5月には臨時議会で正副議長が選出されるなど、様々なことがあった1年ですが、それを振り返り、所感をお伺いしたく思います。

また、来年におきましては、現在の課題を踏まえて、どのように議会運営に取り組むのか教えてください。まず、議長よりお願いいたします。

(議長)

本年5月の臨時会におきまして、議長を仰せつかりました。議員の顔触れや会派構成にも変更があった中で、様々な御意見を傾聴し、そして尊重しながら、公正で円滑な議会運営に努めてきました。

その間、長期化するロシアのウクライナ侵攻に加え、イスラエル・パレスチナの軍事衝突が始まるなど、国際情勢は一層混迷が進んでおり、我が国においても、そのあおりを受け、日々の生活に大きな影響を与えているエネルギー価格や物価の高騰が続いており、その対策に係る臨機の各種事業予算を承認したところです。そのほか、将来にわたる懸念材料である人口減少対策や防災・減災対策等に関し、理事者と一体となって、適時、適切な補正予算を組み、必要な対策を講じることができたものと考えております。

議長として、日々、緊張の中で、公務を遂行して参りましたが、10月に約53万人の参加者と三笠宮彬子女王殿下をお迎えして、盛大に開催された「ねんりんピック」や、ブラジル・パラグアイへの訪問などが、特に印象に残っています。

また、議会運営に当たっては、県民の皆様、議会に対する関心を高め、理解を深めていただくことが大切であるとの思いから、本年は、定例会のダイジェストを作成し、ケーブルテレビで放映するなど、情報発信力の強化を推進してきました。来年も引き続き、様々な広報媒体を活用して、その更なる強化に取り組んでいきたいと考えております。

(南海放送：幹事社)

ありがとうございます。続いて、副議長よりお願いいたします。

(副議長)

本年5月の臨時議会におきまして、副議長の要職に就かせていただき、県議会の円滑な運営を図るため、議長の補佐に精一杯当たって参りましたが、何とか職務を全うできた7か月であったのではないかと考えています。

特に、新型コロナが5類に位置付けられましたが、6月議会では、複数の議員が感染した中、副議長として議会運営に直接携わり、何とか円滑に運営できたことが印象に残っています。

また、議会改革検討協議会においては、座長に指名をいただきまして、県民に開かれた公平かつ公正な議会運営を行う上で、県議会はどうあるべきかという視点に立ち、各会派から出された様々な意見を集約し、議長に答申するなど、有意義な議論を進めることができたと思っております。来年も、先ほど議長もおっしゃられたとおり、更なる情報発信力の強化に注力することにより、議会や議員の活動に一層関心を持っていただけるよう、県民の皆様へ発信していきたいと考えています。

(南海放送：幹事社)

ただいまのお答えにつきまして質問がありましたら、社名及び記者名を言っていたらお願いいたします。

南海放送ですけれども、改めて、地方議会の在り方とか、そういったところが県民の理解、政治離れにつながるかもしれない、そういったところがあると思いますが、具体的にどうやって情報発信が必要だと考えていらっしゃるのでしょうか。

(議長)

先ほど申し上げましたけれども、どのように各媒体を使って発信していくかなど、議会も議員もいろいろ考えています。予算の問題もありますが、マスコミの皆様にも御協力いただいた上で、とにかく県民の皆様へ何とか関心を高めていただき、少しでも議会を身近に感じていただけるようになれば、低い率が続いている県議選の投票率もプラスに転じるのではないかと考えています。当然、このような取組みは、毎年積み重ねていかなければならないと考えています。

(愛媛新聞)

愛媛新聞、長谷川です。議長、副議長、お二人にお伺いしたいのですが、議会改革というところで、お話にありましたけれども、収支報告書の領収書をホームページで公開を始めるということですが、例えば、来年、議会改革で情報発信、ほかに取り組むべき、取り組んでいかないといけないと思われているような点をお聞かせ願いますか。

(議長)

繰り返しにはなりますが、情報発信力の強化が一番と思いますし、議会の活動内容についても、広く県民の皆さんに理解を深めていただくことで、透明性を高めていくことが必要ではないかと思っております。

(副議長)

同様にやはり透明性を高めて、クリーンな議会の運営について、いかに県民の皆さんに分かっていただくか、この点でしっかり信頼を得ていくということが大切だと思しますので、そういったところに力を入れていきたいと考えています。

(読売新聞)

読売新聞です。議長にお伺いしたいのですが、ブラジルに行かれていましたよね。振り返りをいただけますか。

(議長)

11月9日から18日の10日間、ブラジル、パラグアイを訪問させていただきました。本県出身の移住者の方や子弟など、300人以上がお集まりの中、「ブラジル県人会創立70周年式典」に参加させていただきました。式典では、藤原利貞様に対する県功労賞の表彰にも立ち合わせていただき、喜ばれる姿が強く印象に残っています。長年の年月を経て築き上げてこられた県人会と県との関係が更に深化した、いい訪問ではなかったかと思っております。また、サンパウロの総領事館や市議会への訪問、そして、開拓先没者慰霊碑への参拝や献花等を行うとともに、隣国のパラグアイの県人会とも交流をさせていただきました。やはり対面で、様々な交流をした点で意義深かったとつくづく感じています。

(読売新聞)

対面で交流する意義、具体的に踏み込んで言うと、どんなところがいいですか。

(議長)

今申し上げたように、どういう環境でおられるのかとか、いろいろなお話の中でも、やはり画面を通してではお話できないようなことも、対面でお話することで、一層濃い話のできたのではないかと考えています。私たちにとって意義はありましたけれど、訪問を受けた相手方の皆様も、それ以上に喜ばれたのではないかなと思います。例えば、県人会の皆様取材していただいて、今回の訪問をどう受け止められたかということも、是非、逆に聞いていただいたらどうかと思います。

(読売新聞)

還元というか、成果物というか、そういうものがあると、もっと多分理解を得られるのではないかというような趣旨で、前回から話を聞かしてもらっているのですが、県民への海外派遣の成果の還元の仕方、この辺りについていかがですか。

(議長)

すぐにといいわけにはいきませんが、訪問した議員においては、今後の活動の糧にして、県政の伸展につながるような政策立案を考えていただきたいと思っています。

(愛媛新聞)

関連してなんですけど、訪問してその報告書を出されるとお伺いしたのですが、例えば、どれくらいの時期にといいのは決まっているのでしょうか。

(議長)

まず議員から私の方に報告書を提出していただくようになっています。それを踏まえて、次の議会運営委員会に報告する予定です。

(愛媛新聞)

それは、訪問された方が代表して。どんな形で。

(議長)

各議員が、その担当分野に関してレポートを作成して出されるのではないかと思います。

(あいテレビ)

先ほどもちょっと出ましたが、本議会で政務活動費の領収書をネット、ホームページで公開するということですが、改めてそうすることのメリット、どういうふうに

議会を身近に感じてもらいたいとか、参加の意識ですね。その辺り、どういうふうに今回の導入をいい方向に進めていきたいか、お願いします。

(議長)

メリットとしては、より一層の透明性が確保されること、一定の説明責任が果たされること、そして、県民の利便性の向上が図られること、これらの3点に集約されると思っています。

(あいテレビ)

どのようにより身近に感じてもらえそうかとか、その辺りはどうお考えですか。

(議長)

例えばこれまでは、議会に来て閲覧していただかないといけなかったのですが、ネット公開後は、御自分の家で見ていただくことが可能になるわけですから、その点で議会を身近に感じていただけるようになると考えています。

(南海放送：幹事社)

そのほか、いかがでしょうか。それでは、以上で正副議長の記者会見を終わります。

※議事録については、読みやすさや分かりやすさを考慮し、発言の趣旨等を損なわない程度に整理しています。